

三春わが街

■コミュニティだより

■編集 三春まちづくり協会
調査広報特別委員会

■発行 三春まちづくり協会

VOL.14



ゴミコミュニティだより

●ゴミ特集

現在世界レベルで環境問題がさげばれています。

我々の身近なところにもゴミという大きな環境問題があります。

そこで、今回はコミュニティだよりを改め、ゴミコミュニティだよりということでゴミの特集をくんでみました。

今回ゴミについて特集するにあたって、三春町の現状を知らずしては、何も語れないだろうということから、町の清掃センター取材しました。

三春町の現状について

三春町において現在、町民生活から排出されるゴミの量は年々増加の傾向にあります。

平成3年度における排出量は、約四〇〇〇tに達し、これは前年度に比べ五・六%の増加となっています。これは、一戸一日当たり二・二kg、一人に換算しますと一日に五七二gものゴミを出していることとなります。

(表一参照)
それらのゴミを処理するのにかかる総経費は、約七

表一 年度別ゴミ処理状況

	平成3年度	
	可燃物	不燃物
町収集	2,070.87	669.46
事業系	873.21	198.76
直接搬入	53.62	122.79
計	2,997.70	1,021.01
合計	4,018.71	
焼却量	2,516.73	
埋不燃物	1,021.01	
立残灰	346.42	
地計	1,367.43	

平成3年度は、資源回収団体として二七の団体が登録しており、(内旧町内は一二団体)年間でのべ五三回

資源ゴミの回収について

ゴミの減量化のための方法の一つとして、資源ゴミ回収があります。三春町においても廃品回収等により活動が行われております。

また、処理についてもゴミ質の多様化により、燃やすだけ、埋めてしまえばいいというだけにはいかなくなってきているそうです。



(内旧町内は二四回)の活動を実施し、総重量で約二三〇t(内旧町内約九〇t)が回収されました。回収に對して町から交付された報酬金は総額で約七〇万円にもなります。(表二参照)この回収には、いくつもの利点があります。例えば活動団体にとっては、日常生活において一度不用になったもので交付金が頂け団体活動の運営資金の一部にあ

てられます。町にとってもゴミの減量化につながる等、一石二鳥どころか三鳥にも四鳥にもなるわけです。まさに『出せばゴミ、わければ資源』というわけです。しかし、問題点が何もないわけではありません。一般家庭において、資源となるからといって全てを保管することができるといえば、おそらくほとんどの家庭でそのようなスペースはないでしょう。また、回収にあたって、各家庭から出される物を集めるような広い場所があるのか。当然遠い所にあつたのでは、運搬等苦勞の方が多くなってしまいます。そのためか、まだまだ一般の収集日に出されるゴミの中に資源となるものが含まれているのが実状です。回収された物は、全体から

考えますとほんの一握りにすぎないでしょう。私達のためにも町のためにも、ひいては自然環境のためにも一人一人の努力と協力で活動を推進していければと思います。

ゴミの分別収集について

現在、町では人口が増加傾向にあり、それにあわせてゴミの量も増加しています。そのため、すでにほぼいっ

ぱいになってしまっている埋立て地が使えなくなるのは、そう先の話しではないでしょう。少しでも長く埋立て地を使うためには、ゴミの減量化を計らなければなりません。

そのための方法として、最も効果があるのは、資源ゴミの分別収集による再生化ではないでしょうか。それでは、資源ゴミにはどのような物があるのかといえます。古紙類(古新聞、古雑誌等)、ダンボール、布類、金属類、ビン類、アルミ缶等があります。これ

表二 平成3年度資源回収状況

番号	団体名(旧町内)	重量計	番号	団体名(旧町内)	重量計
1	みどりの子供会(八幡町)1	6,152	13	中妻小学校PTA	9,235
2	みどりの子供会(八幡町)2	0	14	南成田子供育成会	10,213
3	中町婦人会	21,558	15	岩江小学校PTA	50,876
4	三春小PTA八幡町字会	11,319	16	貝山PTA	13,488
5	北町ことぶき会	3,937	17	岩江スポーツ少年団	22,923
6	三春小PTA北町字会	8,679	18	富沢第二老人クラブ	0
7	三春小PTA荒町字会	19,537	19	御木沢農協1区婦人部	1,157
8	三春中学校	0	20	御木沢農協2区婦人部	2,243
9	三春中学校新町PTA	6,155	21	御木沢農協3区婦人部	2,297
10	バレーボールスポーツ少年団三春クラブ	10,216	22	御木沢農協4区婦人部	1,880
11	舞鶴クラブ	10,407	23	御木沢農協5区婦人部	1,761
12	一本松32組	1,773	24	御木沢農協6区婦人部	1,272
計		90,538	25	担橋くらしの会	2,357
			26	かたつむりの会	12,856
			27	元町区クリーン有志会	516
	報償交付金総計	698,421円	総計		232,807

らをそれぞれに分類して集めるわけです。特にビン類においては、色別に集めることとなります。しかし、分別収集がよいからといって、すぐにできるかといえます。対応できる施設、器具等数多くの問題があります。将来においては、それらの問題を解決し、分別収集が実施されるものと思われ

清掃センターからのお願い

一、使い捨てライタースタイルを見直しましょう。有限な資源を無駄なく大切に使いましょう。家庭から出るゴミの処理は税金で賄われています。家電製品や家具は大切に使いましょう。



古新聞、古雑誌などの古紙、空き瓶、アルミ缶、スチール缶等をできるだけ細かく分別したものは、価値が高くなります。地域ごとまたは、その他の団体の資源回収に参加しましょう。五、カセットボンベや紙おむつはマナーよく出しませう。カセットボンベやスプレー缶は中身が残っていると爆発することがあります。完全に使い切ってから穴を開けてから捨てましょう。六、無駄になるものは、できるだけ買わないようにし、心無しに散らかせばゴミになるものも、うまくまとめて資源にしましょう。

三春まちづくり協会では、平成三年十一月二十五日、二十六日の両日、協会関係者二十八名で仙台市のゴミ対策事業について学んできました。

ここからは、仙台市の取り組みと研修してまいりました方々の報告書です。

仙台市の

ゴミ対策事業

仙台市のゴミ事情

データが三春のものとは整合しませんが、平成元年度における仙台市のゴミ処理量は三十八万tにのぼり前々年比で約十二%の増となっております。一方、人口は同比較で約三%の増となっております。

ただし、昭和六十二年でみますと、六十年比でゴミ量は約十九%の増、一方人口増は約二%というところで、率のみで見ますと確実に減少していることとなります。

仙台市における「ゴミ減量化の二ころみ

一、空き瓶、空き缶の分別収集。

第三セクター「株式会社環境整備公社」を設立し、収集、運搬業務は市から公社への委託事業、選別、売却業務は公社の自主事業として二週間に一回の指定日を設け収集し、平成二年度は約一五〇五tを収集し、内約九四%を資源として回収しております。

二、集団資源ゴミ回収。

昭和四十八年度より実施しており、平成二年度は一

〇八四の団体が登録しており、一九三六二tの資源を回収しました。

三、鉄類とそれ以外にわけた粗大ゴミ収集。年間四回実施。

四、食堂等飲食店から出る残飯の細断収集。

五、リサイクルセンターによる再利用可能な粗大ゴミの利用。

平成三年十月より実施。

今後は、一般企業等事務所の紙類を中心にしたゴミの分別収集を指導し、実施していきたいとのこと。

ゴミ減量化にかかわるPR事業

一、清掃施設見学バスの運行。

平成二年度は六十回実施し、約二〇〇〇人が見学し

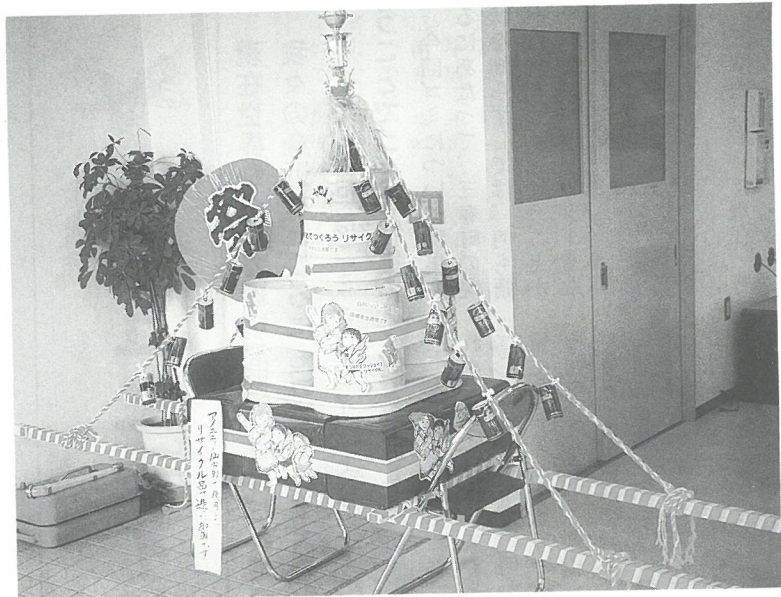


ました。また、見学者にはパンフレット『ごみのゆくえ』を作成し配布してまいりました。また、見学者には「児童向『仮面ゴミダー』捨てられたゴミ達を救え」※尚、ビデオはまちづくり協会でダビングしてあります。必要な方には貸し出しを行いますので、協会担当職員まで申し込みください。(連絡先：六二二二二一)

二、『ごみPALEーごみと暮らしの展示室』の常設。

三、清掃PRビデオの作成、貸し出し

。一般向『現代版・塵芥集』ごみを生かす暮らし』



ゴミでつくられた「ミコシ」

- 一、資源回収は一石三鳥
 - (1)資源の再利用
 - (2)ゴミの減量
 - (3)コミュニティづくり
- 二、指定ゴミ袋
中が見えず危険で破れやすい黒い袋をなくすため「指定袋」を採用。ゴミ容器と

その他

- 一、資源回収は一石三鳥
 - (1)資源の再利用
 - (2)ゴミの減量
 - (3)コミュニティづくり
- 二、指定ゴミ袋
中が見えず危険で破れやすい黒い袋をなくすため「指定袋」を採用。ゴミ容器と

して市販される市指定のポリ袋の外、スーパー等の買い物袋も指定マークがついているものも使用可であります。

◎指定マーク



三春町と仙台市とは、規模等あまりにもかけ離れています。しかし、違うからといって、仙台市の取り組みを別世界のものとせず、共通の問題とその対策、三春町でも取り入れられるものがあるはず。この研修を観光としないようにしていかなければなりません。

研修を終えて

ごみ収集について

環境特別委員会
委員長 佐藤 正昭

広報「みはる」のゴミの欄をのぞいてみると、平成元年度のゴミの搬入量は約三千三百トン。このうち町で収集したゴミは、一日平均約九トン、収集車で五台分になるとのこと。ゴミを収集し焼却、埋立するまで一トン当たりの処理費用が約一万七千円かかるといわれる。

浮内 絹子 (深田和)

また、平成二年度のゴミの搬入量は三千六百トン余り、町で収集したゴミは、二千六百トンを超えたとのこと。元年度に比べ七%の増であったといわれる。こうした報告を聞くにつけ、私達一人一人が、ゴミ減量に協力をしなければならぬことに気がつく。さてそれでは、どんなことをしていけばよいのか。

またまた去る八月と十月の二回にわたり、町の清掃センターを見学する機会があり、いろいろと考えさせられていた矢先に、この度の仙台市のリサイクルセンターへの視察研修をさせていただき、とても参考になりました。



き、三春町の人口の割には何とゴミの量が多いことかと、誰もが一目で驚きの声をあげていました。所長さんはじめ、職員の方々がセンターを訪れる町民に対して、いろいろな形で協力を呼びかけておられました。又、粗大ゴミの量も山になつており、その中には、まだまだ使えそうな電気器具や製品、自転車、家具などが無惨に投げ捨てられていました。中でも桐のタンスは、そのままでも使えそうでした。そのままだでも使えそうでした。センターの方が別に保管されてあり、見学に行った人達が何度も手でさわってなでまわしたりしてました。私もその中の一人でしたが、センターから帰って来て日がたつにつれ、その時の気分(もったいないという)もだんだん薄れていった事は事実です。

しかし、この度の仙台市のリサイクルセンターの視察によって、頭の中で「三春町でもこのままではいけないのではないか。」と、仙台にいたるのに三春の清掃センターとオーバーラップし、いろいろな事が頭の中をかすめて通りました。特に感心したのは、センターにあるリサイクル品展示、情報、何んでも相談の三つのコーナーでした。特に展示品のコーナー部門では、粗大ゴミの中から出たものや、家庭で使わなくなった品物を広いコーナーに並べてあり、一瞬家具屋さんかと思えるほどに立派なものばかり(新品同様)が展示されていたことです。まさに「出せばゴミ、分ければ資源」とは、この事をいうのだと再確認したところです。

三春町でも住民に呼びかけたりして、何か一つでも実行できたなら考えさせられた研修でした。

柳沼 竹四郎 (山崎)

三春町でも、ゴミ袋は透明の袋を使用し中身が見える様にすれば燃えるゴミと燃えないゴミが一緒にしないで出す様になると思う。カン類とビン類は、ゴミ集積所に箱を置いて回収したほうが。

燃えるゴミの中には、資源になるゴミが一緒になって入っている。資源ゴミは年に一回か二回、小学校、中学校のPTAで回収しているが、狭い家では新聞紙や雑誌とダンボールなど置けない為、燃えるゴミと一緒に出してはいる。

資源ゴミの回収を三ヶ月に一回、回収する様にしたら燃えるゴミが減量すると思う。資源ゴミの回収に本腰を入れたらどうだろう。町でもゴミ相談の窓口を置いたらどうか。

佐久間 善子 (大町)

仙台市と三春町では、人口から見ても比較することは出来ませんが、一番感心させられた点は、リサイクル運動でした。

私達の身のまわりには、まだまだ着られるけど子供には小さくなってしまったとか、不用になった二段ベッド、机、オルガンなど捨ててしまおうにはもったいないものがたくさんあります。こんな時こそ、リサイクル品展示コーナーだと思います。このような場所が三春にも出来たらいいなあと思



リサイクル品展示コーナー



また私は、過日、三春の清掃センターを見学しました。その時は粗大ゴミ収集の後でした。まだまだ乗れそうな自転車、テレビ、洗濯機などがあり、すごいなあと思つて帰ってきました。今の子供達は物を大切にしないとか言っていますが、私達大人も、もっともつと物を大切に、子供の良い鏡として生活して行きたいと思ひます。

芳賀 章子 (日向町) 今回参加する前に三春町のゴミ処理場を見学し実態を知つていれば、具体的に比較し考えを述べる事ができたろうと反省しておりました。一、ごみ処理にきびしさを三春街道沿いの『私達の三春町いかがでしたか。』という看板を見るたびに恥ずかしい思いをしている。それは、その周辺のゴミ、更に町内の裏通りにはゴミの散乱があまりにも多いからである。町民はもちろんのこと、他の市町村から通勤通学する人々のゴミの始末に効果的啓蒙が必要かと思われる。官民、各種団体が一体となつてゴミ処理についての意識の昂揚が大切であると思ひます。二、ゴミの出し方について (1)生ゴミについて 仙台と同様に透明なゴミ袋にすれば、中味については徹底すると思ひます。真似したい点である。三春では、広報でゴミの出し方を指示されるがダンボールや紙袋に入れているのをかなり目にする。町組・番くらし、ゴミ袋に書き入れるのも意識を高める方法になると思ひます。 (2)燃えないゴミについて これも仙台の方

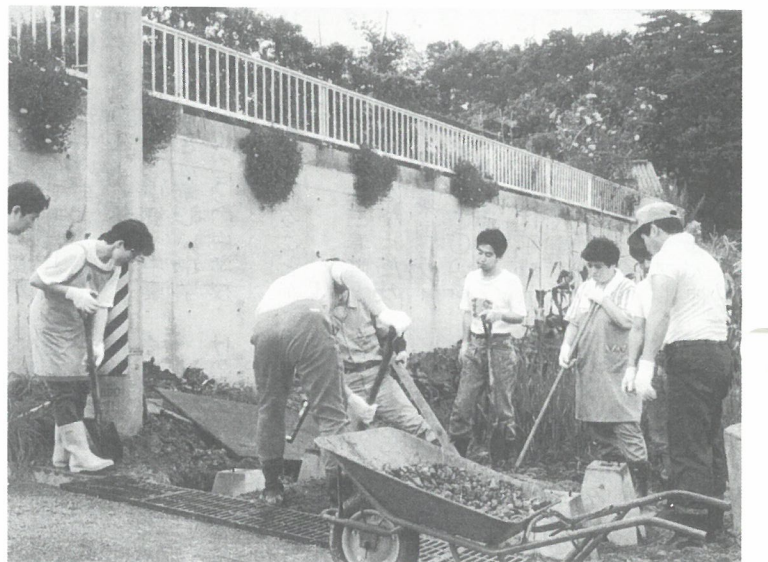
法を参考にしたい点である。まず、『ゴミルールせんだい』という広報紙のように、ゴミの出し方をカラー刷りにわかりやすく明記したものを各家庭に配布する。また、家庭で資源になるゴミとならないゴミに選別し、指示に従つて出すことが効果的な処理を進めるために必要なことと思ひます。リサイクル等可能な資源を明示して、できるだけ回収し、少しでも資源の確保に務めてもらいたい。



中町二十組

泉沢地区の 手作りゴミ集積所 平成三年度三春町 建築賞受賞

三春まちづくり協会環境特別委員会(佐藤正昭委員長)では、平成元年より各字へゴミ集積所設置のための助成を行ってきました。



みんな揃つて

Q4 現在の位置はどういう経過で決められたのですか? A4 いくつか場所を選定してその中から、いくつかの条件に最も適した場所として今の位置になりました。ただ、土地の所有者が東京に住んでおられるので、栗山さんからお願ひしていただいて決定しました。土地は年間二四〇〇円で賃貸契約をしています。 Q5 実際にはどのような作業を行ったのですか? A5 本体は業者の方にお願ひしましたので、本体についての作業はありませんでした。作業は整地と基礎工事と花壇等の飾りつけです。 Q6 作業はいつ、どれくらい行ったのですか? A6 はっきり何日とは言えません。勤めの方がほとんどなので、みんな揃うのが日曜日に限つてしまう。 Q7 俗的な質問になりますが、費用はどの程度かかりましたか? A7 総額で一六六九〇〇円、助成金がありましたので、一戸当たりになりますと、一七一一五円になります。 Q8 維持管理についてはどのようにしているのですか? A8 一ヶ月ずつ交代で当番を決めて行つてます。作業としては集積所とその周辺の清掃が主で、あとは花壇の手入れ等、その時々の時で気付いたことを行つています。せっかくなので、いい物を作つたのだから、きれいに使おうとみんな思つて、当番でなくても気付いたところがあつたら手入れをしています。 Q9 建築賞をいただいたの感想は? A9 最初からそういったものに応募しようとか、まし

平成二年度は、四地区へそれぞれ助成を行い、集積所等を設置していただきました。その中の一つ、中町二十組・泉沢地区では、助成金に加え自分達のお金を出し合い、景観も考慮したすばらしい「手作りゴミ集積所」を設置しました。その集積所が見事、平成三年度三春町建築賞を受賞しました。今回の受賞は、協会としてもたいへんうれしく思つております。 そこで、まちづくりの話題として、製作の代表者であります春山清さんにお話をうかがいました。 Q1 製作のきっかけは? A1 集積所を作るまえは、以前からあった地区の集積所を使わせてもらっていました。ところが、家が建ち並び集積所がゴミでいっぱいになってしまい、また、集積所まで遠いという声も上がり、なんとか地区内に作れないかと



三春クロスワードパズル

ゴミばかりでない！ 桜川の水質汚濁も 環境問題

て賞をいただくと思うって作ったのではなく、ただ前にも言いましたように、運動公園の前であり顔になる部分である、また育苗センターの前でもあり、農家の方々に迷惑をかけるわけにはいかない、そういった気持ちからこのようなものを作ったのです。

Q10 最後にゴミ集積所のことも含めまして、ゴミ問題について何かありましたら？

A10 とにかく、ゴミに対して関心を持つことが大切だと思います。ゴミは我々が出すものですから、感謝して少しでも出さないように、どうせ出すならきれいなところに、そして周囲に迷惑をかけることがないように心がけることが大切だと思います。

これは、町をはじめ住宅地を造成する方々へのお願いですが、住宅地をつくる時は、ゴミ集積所をどこにつくるか決めてから売るようにして欲しいのです。そうしないと、誰だつて自分の家の前にゴミを置かれたくないし、道路にまさか集積所を置くわけにはいかないのだから後々問題になります。今後も環境について協力できることがあれば、手助けしていきたいと思っています。

自然環境や我々の生活環境へのちよっとした思いやりが大切であり、その思いやりが建築賞という形にあらわれたのではないのでしょうか。今回の取材を通してそう感じました。

環境問題を考える時、ゴミばかりでなく我々の身近には河川の水質問題も忘れられることはできません。

そこで町では、合併処理浄化槽の設置を推進するため補助制度をつくりました。このような制度をうまく使い環境美化に務めたいものです。

◎合併処理浄化槽の利点
一、処理性能は下水道最終処理場の高級処理と同等(BOD除去率90%以上、放流水のBOD20%以下)
二、地形の影響を受けることなく、どこにでも設置できる。
三、小河川の自然浄化能力を活用できるとともに、河川の水質確保も図れる等。

◎合併処理浄化槽設置補助金の現状
補助金申請件数……二件
合併処理浄化槽設置申請者……五件
(五月末現在)

また、三春中学校の桜川クラブでは、毎年桜川の水質調査を行っています。平成三年度は、六月一日に清水、中町、岩江の三地区で調査を実施しており、清水では、大変きれいな水。中町では、きたない水。岩江では、少しよごれた水。という結果が出ております。

水質について町民のみならずさまに考えてもらう意味と桜川クラブの活動に敬意を示しまして、今後は調査結果の発表の場をつくっていききたいと思っています。

1	☹	☹	☹	6			☹		☹	☹
	☹	☹	☹		☹	☹		☹	☹	☹
	☹	☹	4	☹	い					☹
う					☹	☹	☹	☹	☹	☹
	☹	☹		☹	え			11		14
さ					☹	☹	☹	☹	☹	
	☹	☹		☹	☹	9		☹	☹	
	☹		3か					○		
○	☹		☹	☹	☹		☹	☹	☹	☹
	☹	☹	☹	7	☹			☹	☹	☹
2	☹	き	5			○	☹	☹	12	15
	☹	☹		☹	☹	☹	☹	☹	☹	
○	☹		け		8		○	☹		
こ		☹		☹	○	☹	☹	☹	☹	
	☹	さ						☹	し	○

へクロスワード に挑戦!!

今回初登場のクロスワードパズルです。クイズに答えてプレゼントをもらっちゃおう!

●ヒントはなし!

パズルの解き方

「たてのかぎ」を参考に、問題を解き、答えを問題文と同じ数字の場所から縦にひらがなで記入し、「よこのかぎ」の答えは、問題文と同じひらがなの場所から横にひらがなで記入する。全部記入を終えたら、○のついた欄の字を抜き出し、意味のある言葉にならばかえします。それがこのパズルの答になります。

たてのかぎ

- 1 夏の一大イベント。八月十五、十六日の夜は、三春観光○○○○○○○○
- 2 中妻地区の西方で毎年一月一日に行われる、塩釜神社ゆかりの○○○○まつり。
- 3 みはるダムのマスコット。今度登場した女の子の名前は、○○ちゃん。
- 4 現在は、三春小学校の校門になっている、三春藩の藩校の門。
- 5 三春ダムにかかるたきさんの橋のうちの一ひとつ。一番長くて、瀬戸大橋のような外観を持つ斜張橋。平成四年度完成予定。もうすぐお目見えです。
- 6 田村藩のおひめさまで、伊達政宗の正室となつた人の名は、○○姫。松島にお墓があります。
- 7 みはるダムのマスコットの。ハクビシンをもとにデザインされた男の子の名前は、○○くん。
- 8 旧中妻中学校のあった場所は、東京の西端の市と同じ○○という地名です。
- 9 三春舞鶴城址は山の上にあります。その山は、町民から○○○○と呼ばれて親しまれています。
- 10 ダム建設による移転と、統合により、中郷・中妻地区にできた新しい中学校の名前は、○○中学校といひます。
- 11 春に水芭蕉を見ることができのお寺。
- 12 昭和六十二年に三春町と国際姉妹都市になったのは、アメリカ合衆国、ウイコンシン州の○○○○レイク市。
- 13 三春町○○町では平成元年から、地区の人達の志により、長くとだえていた山車を復活させ、イベントなどとタイアップして、毎年盛大に三春大神宮の祭りに奉納している。

よこのかぎ

- 14 室町時代末期の高名な画僧が晩年を過ごした所。○○○○庵。
- 15 身代わり地蔵尊がある新町のお寺。
- あ三春の由来は、三つの春が一遍に集ることから。さて、この春を象徴する三つの花は、
い新町の東、二八八号バイパス沿いに新しくできた宅地の名称。
う 沢石地区の縄文時代の遺跡は、○○○○遺跡という名称です。
え 三春張り子人形を作っている、高柴にある集落。お中郷地区にある国の天然記念物にもなっているしだれ桜の老木。
か 城山に向かいあうように建っている、三春のむかしやルーツを集めて展示研究している建物。三春町歴史○○○○○○○○○○。
- き 坂上田村麿呂が伝えたという、三春の代表的な木彫りの民芸品。
く 大きな仁王像の門のある神社。田村○○○○神社。
け ○○○○は、毎年一月十二日に行われていたが、町年始受けと合わせて、一月十五日に開催されるようになった。
こ 城下町三春としては、町の武道館での柔道、○○道、弓道は盛んに修練されている。
さ 駅の南側に作られた新しい居住区。景観を配慮するなどの試みが始まった地域。
し 自由民権運動の総師、河野広中氏の遺髪を収めた塚があるお寺。

プレゼント

●五〇〇〇円分の図書券……5名様
※アンケート

◆今後「三春わが街」でとりあげて欲しい内容を書いて下さい。

※応募方法
ハガキに、クロスワードの答えを書き、アンケート、住所、氏名、年齢、電話番号を明記して、左記のあて先までお送り下さい。

※あて先
〒九九七 三春町字大町一ノ二 三春まちづくり協会
三春わが街編集部 新野宛
締切は七月三十日当日消印有効

お知らせ

まちづくり協会 規約改正について

いままでは、まちづくり協会では、調査広報、環境、生活、老人福祉そして街並みの五つの特別委員会において、そのほとんどの活動を行ってききましたが、平成四年度より、さらに活動が充実するよう、広報委員会をのぞき活動内容を一部変更し、名称も特別委員会から部会と改め活動していくこととなりました。

また、今回の改正にあたり町の民間開発指導要綱を基に、土地利用部会を設置しました。これは、地域に住む我々のためになる土地利用をはかっってもらうため、民間の開発業者と町と我々まちづくり協会とが協議を行い、その結果を協定書という形でまとめ、協定書により良好な開発を行っている

編集後記

ただこうとするものです。部会運営には皆様の意見と協力が必要です。どうかよろしくお願ひします。

▼今回何年かぶりまで広報をつくることができ「ほっ」としています。
しかし、この広報の行く末が、ゴミ箱を経由し、清掃センターに行くのでは、と考えると複雑な思いです。今回の取材を通して感じたことは問題だと口で言っている、実際は現在の使い捨て、新しいものをほしがる等の生活に慣れてしまつて行動が伴っていないのではないかと感じます。
正直に言いまして、私は、『完璧』と言えるような解決策は見えてきませんでした。
▼もうすぐ夏休み!皆さんはどちらに行かれますか?計画だけに終わってしまわないうようにしたいものです。
今回は、クロスワードパズルが初登場!ぜひお試下さい。ひらがなの並べ方が結構むずかしいのでは?また、研修に参加された方々からたくさん報告書をおいたいただいたのですが、枚数の都合で五名の方々のせられませんでした。ご了承ください。それでは夏バテに注意して……(志賀)

「三春わが街」第十四号
発行者 三春まちづくり協会
発行 平成四年七月十五日
事務局 三春町商工会内
編集 三春まちづくり協会
調査広報特別委員会